

第 44 回 全国小・中学校 PTA 広報紙コンクール応募結果

ご応募いただいた広報紙の中から、下記の小学校 6 点、中学校 4 点を日本 PTA 全国協議会へ送らせていただきました。

＜各賞については、新潟市 P 連での成績結果です＞

	広報紙名	学校名	賞
小学校	PTA にいがた	新潟市立新潟小学校 PTA	最優秀賞
	はぐく美	新潟市立亀田西小学校	優秀賞
	しのゝめ	新潟市立葛塚東小学校	奨励賞
	しののめ	新潟市立亀田東小学校	//
	五和(いつわ)	新潟市立曾野木小学校	//
	のびゆく芽	新潟市立早通小学校 PTA	//
中学校	わかくさ	新潟市立西川中学校 PTA	最優秀賞
	PTA くずつか	新潟市立葛塚中学校 PTA	優秀賞
	寄居会報	新潟市立寄居中学校 PTA	奨励賞
	曾野木	新潟市立曾野木中学校 PTA	//

※ 今後の流れ：市 P 連で第 1 次審査を終えた作品は、日本 PTA 全国協議会において、第 2 次審査、第 3 次審査、最終審査の 3 回の審査が行われ、優秀作品については、11 月に表彰式を行う予定です。

※ 市 P 連では、新潟日報社編集局整理部第二部長の笹川 克年 様に審査に加わっていただき、別紙の通り丁寧な講評をいただいておりますので、今後の広報紙作りの参考にさせていただけると幸いです。

ご応募、ありがとうございました。



令和4年度新潟市小中学校PTA広報紙コンクールの審査を終えて

新潟日報社編集局整理部第二部長

笹川克年

PTA広報紙の出来栄を競うコンクールの審査に携わり、すっきりしたレイアウトでビジュアルに訴える作品が多いことに驚きました。全体のレベルが高く、文字だけだったひと昔前のPTA便りとは大違いでした。

小学校の部では新潟小の「PTAにいがた」が秀逸でした。表紙がカラフルな上に楽しそうで、「中を見てみよう」という気持ちにさせる紙面でした。表紙の印象は重要です。亀田西小の「はぐく美」、万代長嶺小の「翔」も良かったです。

中学校の部は全体的に「真面目に作られている」という印象でした。写真を大胆にあしらったり見出しを工夫したりと、もう少し遊び心を加えてもいいと思います。西川中の「わかくさ」、葛塚中の「PTAくずつか」は総合力で他を上回っていました。

難しい審査でしたが、各紙を読み比べながら「作り手は大変だろうなあ」と思いました。企画を考え、取材し、原稿を集め、レイアウトして印刷する。貴重な時間と労力を無償で提供するPTA活動に頭が下がります。

家庭も学校もずいぶん忙しくなりました。共働きの保護者が増え、教員の過重労働は社会問題となっています。配布物の電子化が進む中、広報紙作りを簡素化したり、やめたりする学校が増えているといえます。

苦勞して作ったはいいが、きちんと読んでもらえているのだろうか。それは、新聞社が抱える悩みとも共通です。

新聞をめくってざっと見出しを眺め、気になったものだけ記事に目を通す。忙しい現代人には、そんな読み方が広がっているといえます。購読をやめる理由に「忙しくて読む暇がない」と挙げる人が多いとも聞きます。

新聞記事はコンパクトに、見出しは簡潔明瞭に。写真やグラフィックスも効果的に使う必要があります。何より、読者が知りたいことや気になるものに、もっともっと敏感にならなくてはならないと感じました。新聞社の根幹ともいえる問いかけを、広報紙の審査から突きつけられた気がします。

